

企業短期経済観測調査（道北[※]地域分）
（調査対象企業数：道北[※]38社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント
()内は前回調査時予測

(判断D. I.)

	2022/12月	2023/3月	6月	9月	12月	2024/3月	2024/6月 までの予測
業況判断 < 良い - 悪い >	0	2	8	5	3	(-8) 6	-5
うち製造業	25	13	12	25	0	(12) 13	12
非製造業	-6	0	6	0	3	(-13) 3	-10
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	-10	-18	-12	-18	-16	(-13) -11	-13
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	3	3	3	4	14	4	
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	2	-2	-2	0	0	(-2) 0	-5
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	-45	-45	-48	-42	-47	(-58) -45	-61
資金繰り < 楽である - 苦しい >	15	12	18	15	16	13	
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	17	17	17	20	20	29	
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	5	6	3	0	3	(15) 6	21
販売価格 < 上昇 - 下落 >	30	30	27	18	13	(19) 18	32
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	68	60	55	50	50	(53) 63	61

(注) 2024/3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

(事業計画)

全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

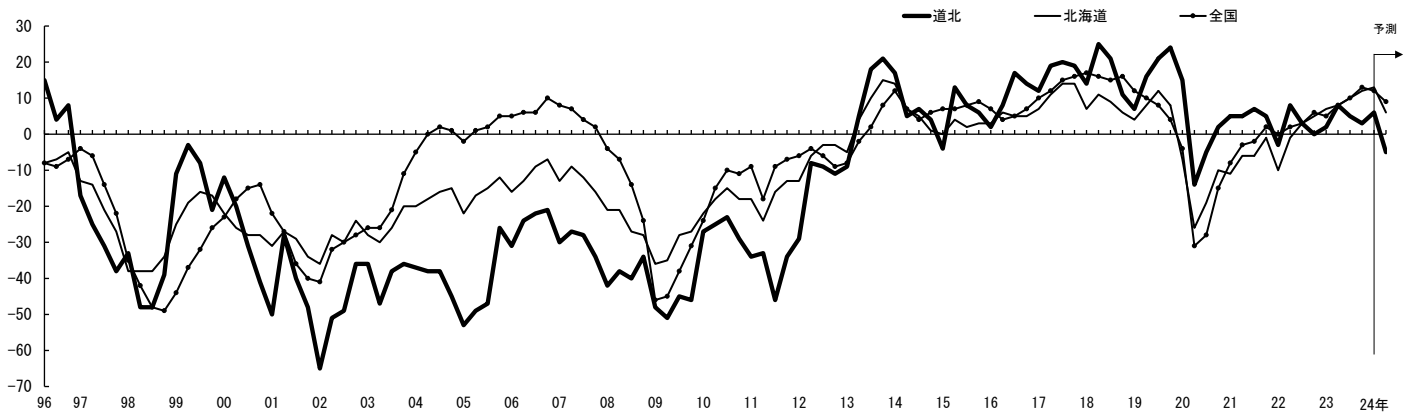
	2022年度実績	2023年度実績見込				2024年度計画				
		前期		下期		前期	下期			
売上高	5.8	-2.9	< 0.6 >	-3.2	< -0.2 >	-2.5	< 1.4 >	-1.7	-0.6	-2.7
経常利益	-20.3	-14.6	< -7.5 >	-12.6	< -10.8 >	-16.9	< -3.3 >	-8.7	-18.5	3.2
当期純利益	-28.3	5.9	< -12.2 >	27.2	< -12.8 >	-14.8	< -11.3 >	-12.6	-25.4	6.0
設備投資額	14.1	42.9	< 1.2 >					-21.3		

(注) 2023年度以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

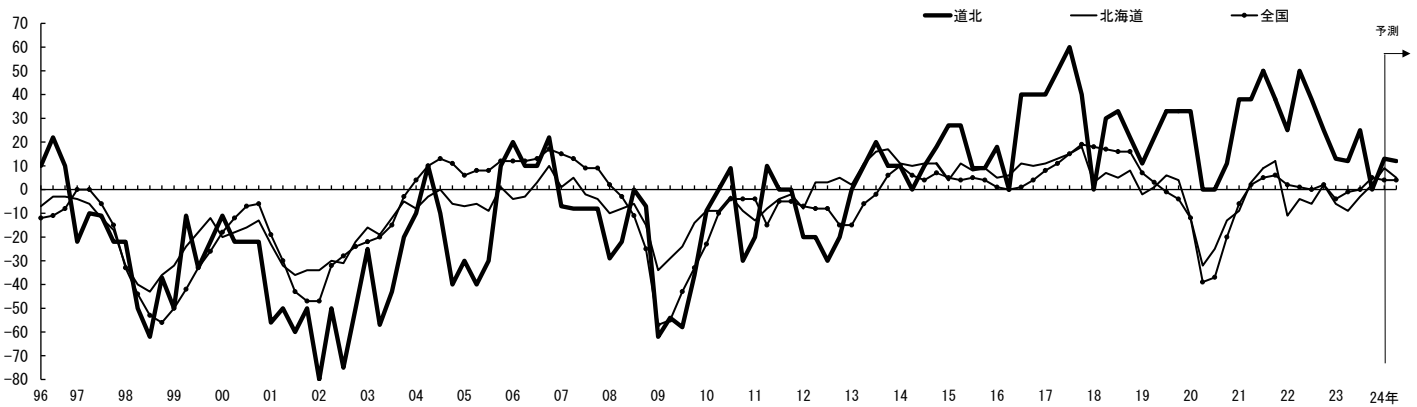
2023年度の前回調査比修正率は、調査対象企業見直し後の再集計値との比較。

2024年3月短観・調査結果

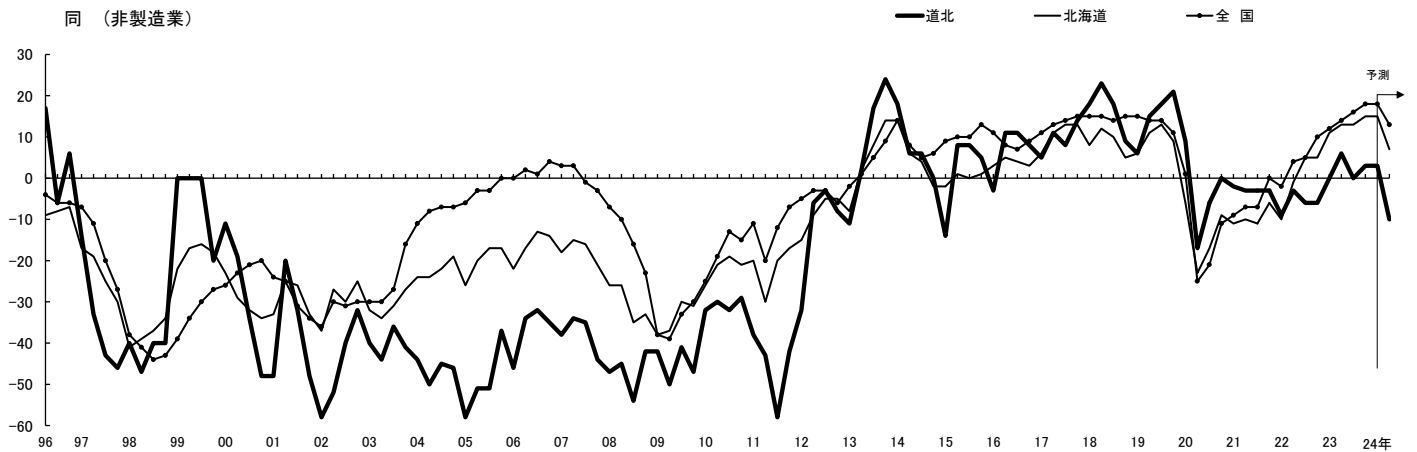
業況判断D. I. (「良い」－「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2024年3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2024年3月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 38 社（製造業 8 社、非製造業 30 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 38 社）
- 回答期間：2024年2月27日～3月29日

1. 業況判断 DI

- 3月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+6 となり、前回 12 月調査に比べて改善した（前回+3、前回比+3）。
 - 製造業の業況判断 DI は、+13 と前回調査比改善した（同 0、同+13）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+3 と前回調査比不変となった（同+3、同 0）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、-5 との予測（2024年3月実績+6⇒6月までの予測-5）。
 - 製造業は幾分悪化（同+13⇒+12）を見込む一方、非製造業は悪化（同+3⇒-10）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI<需要超過-供給超過>」（前回調査-16⇒今回調査-11）は、供給超過幅が縮小した。
- 「製商品在庫水準判断 DI<過大-不足>」（同+14⇒+4）は、過大超幅が縮小した。
- 「生産・営業用設備判断 DI」<過剰-不足>」（同 0⇒0）は、不変。
- 「雇用人員判断 DI<過剰-不足>」（同-47⇒-45）は、不足超幅が幾分縮小した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI<楽である-苦しい>」（同+16⇒+13）は、楽である超幅が縮小した。「金融機関の貸出態度判断 DI<緩い-厳しい>」（同+20⇒+29）は、緩い超幅が拡大したほか、「借入金利水準判断 DI<上昇-低下>」（同+3⇒+6）は、上昇超幅が拡大した。
- 「仕入価格判断 DI<上昇-下落>」（同+50⇒+63）は、上昇超幅が拡大したほか、「販売価格判断 DI<上昇-下落>」（同+13⇒+18）も、上昇超幅が拡大した。

3. 事業計画

- 2023年度の実績見込は、売上高は前年度比 -2.9% 、経常利益は同 -14.6% 、当期純利益は同 $+5.9\%$ 、設備投資額は同 $+42.9\%$ となっている。前回調査との比較では、売上高と設備投資額は上方修正された一方、経常利益、当期純利益は下方修正された。
- 2024年度の計画は、売上高は前年度比 -1.7% 、経常利益は同 -8.7% 、当期純利益は同 -12.6% 、設備投資額は同 -21.3% となっている。

以 上